

野 球 競 技 規 則

1. 競 技 規 則 2007年度公認野球規則を適用する。
2. 競 技 種 目 軟式野球競技とする。
3. 出 場 資 格 茨城県1、栃木県1、群馬県1、埼玉県1、千葉県1、東京都2、神奈川県2、山梨県1（地元開催チームは1チームを加えて参加することができる）
〔優勝・準優勝・3位チームが全国大会に出場する〕
4. チームの編成 (1)1チームの編成は、監督を含む選手20名以内とする。
(2)特別な理由（突発的な事故、病気等）がある場合に限り、選手の変更及び背番号の変更は、今大会の競技実施要項の規定（所定の用紙に理由を明記して監督・主将会議の期日までに提出する）に従って認められる。但し、追加の申し込みは、一切認められない。
(3)監督の背番号は30番、主将の背番号は10番とする。
5. 試 合 方 法 トーナメント方式による。
6. 審 判 人 数 (1)1・2回戦は3人制とする。
(2)準決勝・決勝及び3位決定戦は4人制とする。
7. 申し合わせ事項 (1)試合＝（決勝戦を除く）7回戦とする。同点の場合は特別延長方式を適用する。
決勝戦は9回戦とする。延長は12回までとし、なお勝負が決しない場合は特別延長方式を適用する。

—— 特別延長とは ——

継続打順とし、前回の最終打者を1塁走者とし、2塁、3塁の走者は順次前の打者（投手を交代か、除いてもよい。）とする。すなわち無死満塁の状態にして1イニングを行い、得点の多いチームを勝ちとする。勝負が決しない場合は、さらに継続順でこれを繰り返す。なお通常の延長戦と同様規則によって認められる選手交代は許される。

(2)試合5回終了時点で2時間超過の場合には新しいイニングに入らないものとする。
但し、決勝戦を除く。

(3)コールドゲーム＝5回以降7点差が生じた場合は、コールドゲームを採用する。但し、

決勝戦は点差によるコールドゲームは採用しない。

日没・降雨・その他プレーヤーが危険にさらされる恐れのある場合、コールドゲームとする。4回（決勝戦は5回）裏の後攻チームが攻撃中であっても後攻チームが先攻チームより多くの得点をした場合及び同点の場合は、コールドゲームとして試合は成立する。同点引き分けの場合は抽選によって勝負を決定する。

コールドゲームの得点は、最後の均等回数終了後の得点による。但し、その最終

回が未了であっても後攻チームが先攻チームより多くの得点をした場合及び同点の場合は、均等回の終了を要しない。

- (4)ユニフォーム = 袖に必ず都県名を縫い付けること。
- (5)用具 = 打者及び走者は、ヘルメットを着用しなければならない。捕手はヘルメット及びプロテクター（カップ付）とレガースを着用しなければならない。
- (6)試合開始予定時間 30 分前に会場に集合すること。尚、集合時間に遅れたチームは、原則として棄権したものとみなす。
- (7)ベンチは、組み合わせ番号の若いチームを 1 塁側とする。
- (8)シートノックは 5 分間とする。但し、大会運営上で中止又は短縮する場合がある。ノッカーも、ユニフォームを着用すること。
- (9)打順表の交換について試合開始予定時刻の 30 分前に行う。審判員立ち会いのものと、両軍の主将によって攻守順を決定。用紙（6 枚複写）は本部で用意するので事前に受領すること。読みにくい名前にはフリガナをつけること。
- (10)試合中、抗議できる者は、監督又は主将・当該プレーヤーである。
- (11) 捕手又は内野手が投手に行ける回数を 7 回戦の場合 3 回までとし、9 回戦の場合 4 回までとする。

8 . 使 用 球 全日本軟式野球連盟公認新しいナガセケンコーボール A 号（2006 年度より）

- 9 . 組 み 合 せ 抽 選**
- (1)監督・主将会議において、監督または主将およびチーム関係者などの 2 名が出席すること。
 - (2)監督・主将会議において、抽選を行う。本抽選のくじ引き順を決定する予備抽選は、同会場での出席受付順に行う。
1 都県 2 チーム参加の場合は、決勝戦まで当たらないよう組み合わせを行うものとする。
 - (3)監督・主将等会議において、監督・主将が共に欠席したチームは、原則として出場を棄権したものとみなす。代理人が出席する場合は、事前に監督または主将が作成した委任状を提出しなければならない。

- 10 . 表 彰**
- (1)優勝チームに優勝旗・優勝カップ（持ち回り）賞状・メダルを、準優勝チームには、準優勝カップ（持ち回り）・賞状・メダルを 3 位チームには、賞状・メダルを授与する。
 - (2)個人表彰について
最優秀選手賞、 最優秀投手賞、 最優秀打者賞、 敢闘賞
首位打者賞（1 回戦から決勝戦まで試合数の規定打席を設けて選考する）

- 11 . そ の 他**
- (1)大会の負傷・病気については、応急手当の他は、主催者側では行なわない。（選手の損害保険は、各チームにおいて加入しておくこと。）
 - (2)雨天時の連絡については、当日試合を中止する場合、又は開始時刻を変更する場合は大会本部から各チームへ連絡する。ただし、雨天の場合、本部と審判員が

相談をし決定するものとする。

(3)試合中ベンチに入ることのできる者は、登録された監督、主将、コーチ、選手及び

スコアラー、マネージャーの他、チーム部長1名と通訳者1名とする。

(4)落雷の危険があるため、木製バットを2本用意すること。

一般的にはJ S B Bマークが入っていれば金属、カーボンは使ってもいい。木、竹の場合はマークがなくても使用可。